

言語活動を充実する場合の配慮事項は何か。

- ・ 各分野の指導については、衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮するものとする。
- ・ 技術・家庭科の特質を踏まえ、生活における課題を解決するために、言葉だけでなく、設計図や献立表といった図表及び衣食住やものづくりに関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。
- ・ 各項目の指導内容とのかかわり及び国語科をはじめとする他教科との関連も踏まえ、言語の能力を高める学習活動を指導計画に位置付けておくことが大切である。

(例1) 手縫いやミシンを用いての基礎縫いについて学習した後に、言葉と図の両方を用いて、縫い方を説明する。

(例2) 調理実習後の感想を短歌や俳句で表す。